

1 総 括

1-1 沿 革

年 月 日	記 事
平成	
5～	木材関係試験研究調査開始
8	木材試験研究に関する基本構想策定
9	木材試験研究体制整備基本計画策定
10～11	基本設計・実施設計
11～12	建設工事
13. 4. 1	木材利用技術センター開所 初代所長大熊幹章就任
8. 9	開所式
8. 10	スギシンポジウム 2001 を都城市で開催
14. 4	乾燥材生産指導員配置
4. 26	ウッディランド開所式
5. 1	客員研究員制度導入
5. 1	研修生制度導入
7. 10	皇太子同妃両殿下ご視察
15. 3. 10	スギシンポジウム 2003 を宮崎市で開催
4. 1	2代目所長有馬孝禮就任
11. 14	木質資源に係る国際懇話会開催
16. 2. 12	スギシンポジウム 2004 を宮崎市で開催
4	都市エリア産学官連携促進事業が採択（当センターがコア研究室、有馬所長が研究総括に就任）
7	第10回木質構造国際会議（WCTE）の本県開催が決定
11. 27	木の建築フォーラム／都城・スギシンポジウム 2004 を都城市で開催
17. 8. 22～23	日本木材学会九州支部大会をセンターで開催
18. 2. 16	スギシンポジウム 2006 を宮崎市で開催
19. 2. 13	スギシンポジウム 2007 を宮崎市で開催
19. 6.	先端技術を活用した農林水産研究高度化事業が採択（当センターが中核機関、有馬所長が研究総括に就任）
11. 6	スギシンポジウム 2007 を宮崎市で九州木材業振興対策協議会と共催
20. 6. 2～4	第10回木質構造国際会議（WCTE）が宮崎市で開催され、事務局を担う

1-1 沿革(つづき)

年 月 日	記 事
12. 17	日中韓3カ国セミナーをセンターで開催
12. 18	スギシンポジウム 2008 を宮崎市で開催
21. 12. 10	スギシンポジウム 2009 を宮崎市で日本木材学会九州支部と共催
22. 3. 17～19	第60回日本木材学会大会が宮崎市で開催され、事務局を担う
5	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業が採択 (センターが中核機関、飯村副所長(技術)が研究総括に就任)
10. 29	スギシンポジウム 2010 を都城市で開催
23. 4. 1	3代目所長飯村豊就任
10. 18	宮崎大学工学部と「連携・協力に関する協定」を締結
10. 20	京都大学生存圏研究所と「連携・協力に関する協定」を締結
11. 10	センター開所10周年記念行事開催 センター開所10周年記念スギシンポジウム 2011 を都城市で、日本木材学会九州支部と共催開催

1-2 業務の概要

当センターは、スギを中心とする県産材の効率的活用、需要拡大を図るため、木材関連産業の技術の向上及び新製品の開発支援、新構法の開発等に取り組んでいます。

組織は1課3部体制で、企画管理課では、予算の編成・執行、給与、旅費、庁舎管理等のほか、試験研究の企画・連絡調整、各技術相談の窓口業務を行っています。

材料開発部では、大径材から得られる心去り正角材の天然乾燥における収縮率や含水率の推移及び人工乾燥スケジュールの検討を行い、材面の繊維走行の差異と表面割れとの関係や収縮率の差異などを明らかにしました。また、土木用スギ材の耐久性評価試験では、目視による腐朽度判定に加え、振動周波数の変化が有効な指標となることが分かりました。更に、木質バイオマスの活用方法の一つとして炭化技術を取り上げ、熱収支や製造コストの予備的検討を行いました。ほかに、スギ樹皮及び焼却灰の無機化学分析からみた有効利用、特に、難燃性を付与するための研究開発に引き続き取り組みました。

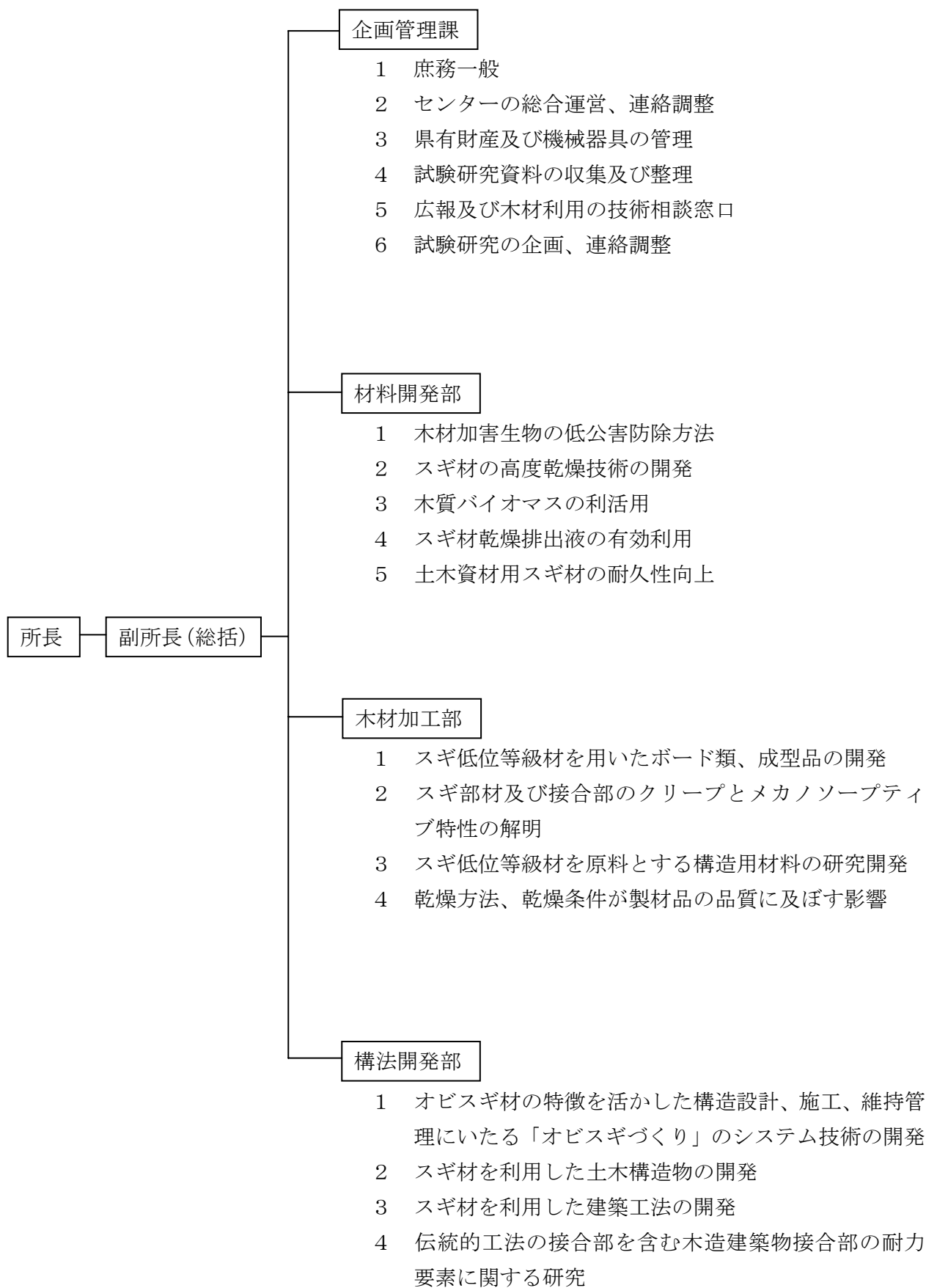
木材加工部では、スギ心持柱材の乾燥に関して、ホットプレスを用いた表面割れ抑制処理の検討を行い、割れ、変色が少ない品質の良い柱材の生産が可能であることが分かりました。また、スギに適したネジの開発を進め、その形状の検討を行いました。国土交通省の競争的資金「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」事業を活用し、正角材の天然乾燥過程における干割れ進行の調査、伝統的継手の曲げ性能の評価を行い、接合性能を明らかにしました。さらに、「日本学術振興会科学技術研究費補助金(基盤研究C)-スギ低樹高部から得られる平角材の力学的性能向上と梁部材への効果的適用に関する研究-」では、スギ大径材から得られた4丁取り心去り正角材の曲げ性能について検討を行い、心持ち材と同等の性能を有することが分かりました。

構法開発部では、スギ及びスギ製品を主に建築・土木用途に有効活用する新しい構法(利用法)の研究・開発・実用化に取り組んでいます。農林水産省補助事業の研究課題「輸出ニーズに適応した建築物向け国産材インフィル部材の技術開発」では、県産スギに適したテーパードネジを開発するとともに(特許出願)、スギLVLパネルの遮音・断熱性能の評価等を行いました。また、公共建築物等における木材利用を促進するため、(社)宮崎県建築士事務所協会と共同で大規模木造の設計資料の整理を行いました。土木用途ではスギ集成材と高強度繊維補強モルタルによる複合桁の試設計を行いました。さらに、新たにラグスクリーボルトによる木質ラーメン構造の開発に取り組みました。

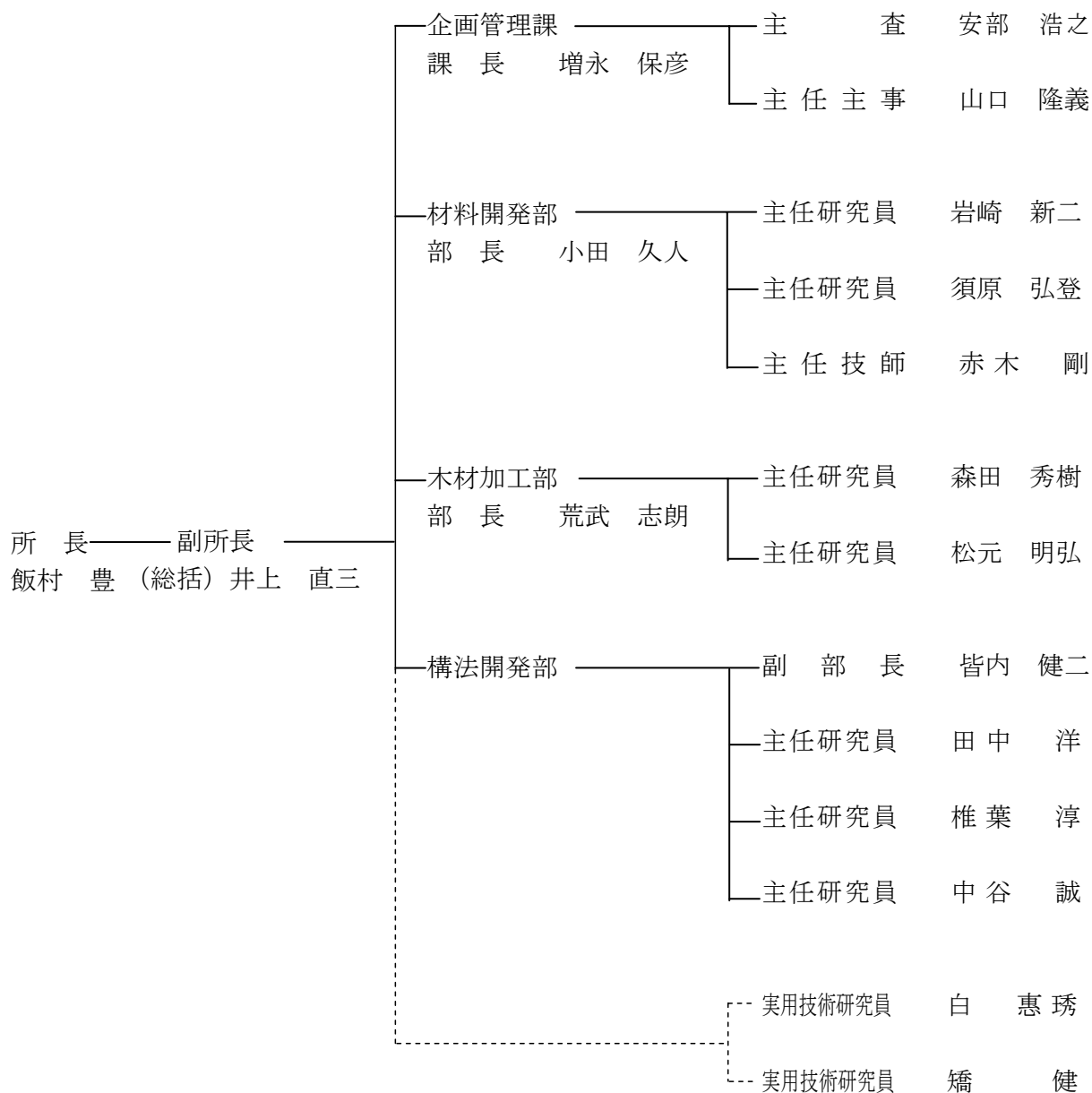
その他、928名の視察・見学者等の案内、71件の依頼試験、736件の技術相談、民間企業などとの共同研究に対応するとともに、開所10周年記念「スギシンポジウム2011」、木材加工技術意見交換会、研究成果報告会などを開催しました。

1-3 組織

1-3-1 事務分掌



1-3-2 職員配置表



※ 実用技術研究員：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 22 日

1-3-3 職員現況表

区分	職員			非常勤職員		臨時職員	日々雇用職員
	事務	技術	計	実用技術	その他		
所長		1	1	2	3	2	6
副所長	1		1				
企画管理課	2	1	3				
材料開発部		4	4				
木材加工部		3	3				
構法開発部		4	4				
計	3	13	16	5		2	6

※ 臨時職員と日々雇用職員は、年度を通して最多雇用時の数を記載

1-4 施設

- 所在地 〒885-0037 都城市花繰町21号2番 電話 0986-46-6041 FAX 0986-46-6047
E-mail mokuzai-center@pref.miyazaki.lg.jp
- 土地面積 34,309.81 m²
- 建物延面積 5,147.98 m²
- 木材使用量 1,716 m³ 内

構造用製材 (スギ・ヒノキ)	628 m ³
構造用集成材 (スギ)	725 m ³

区分	構造	主要諸室	面積	架構の特徴
管理棟	木造平屋	エントランス 展示室 大・小会議室 所長室 事務室 応接室 倉庫	1,426.46m ²	スギ構造用集成材ボックス梁を用いた大空間の木造架構
研究棟		研究室 ワーキングルーム 資料室	724.71m ²	スギ構造用集成材立体トラスを用いたフレキシブルな空間
総合実験棟		材質試験室 化学試験室 耐候性試験室 住環境試験室 主電気室	725.75m ²	スギ構造用集成材トラス組
構造実験棟		強度試験室	482.76m ²	スギ構造用集成材と合板による折板構造架構
加工実験棟		機械加工試験室 乾燥試験室 副電気室 機械室	913.68m ²	構造用集成材変形トラス組
材料実験棟		製造試験室 長期性能試験室 プロジェクト試験室	777.60m ²	構造用集成材変形トラス組
その他		車庫	97.02m ²	
合計			5,147.98m ²	

1-5 予算

1-5-1 歳入予算

収入済額は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	収 入 額	摘 要
使用料及び手数料	772,245	依頼試験
公有財産使用料	46,750	電柱敷、電話柱敷、自動販売機
諸 収 入	419,756	木くず、鉄スクラップ、自販機電気料、雇用保険料
合 計	1,238,751	

1-5-2 外部資金等受入

(単位:円)

種 類	事 業 名	金 額	摘 要
農林水産技術会議	実用技術開発事業	27,300,000 ※1	輸出ニーズに適応した建築物向け 国産材インフィル部材の技術開発
文部科学省	科学研究費補助金	4,290,000	木質燃料灰を再利用した水酸アパ タイト複合材の開発等
合 計		31,590,000	

※1 共同研究機関分含む。

1-5-3 歳出関係

予算執行額は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	センター執行分	本課執行分	計
報 償	18,488,840		18,488,840
給 料		67,380,232	67,380,232
職 員 手 当 等		33,911,100	33,911,100
共 済 費	3,175,724	17,600,233	20,775,957
賃 金	6,308,749		6,308,749
報 償 費	454,500		454,500
旅 費	7,023,369		7,023,369
需 用 費	24,079,720		24,079,720
役 務 費	1,635,670		1,635,670
委 託 料	29,135,957		29,135,957
使用料及び賃借料	537,210		537,210
工 事 請 負 費	0		0
備 品 購 入 費	138,774		138,774
負担金補助及び交付金	12,811,400		12,811,400
公 課 費	52,800		52,800
合 計	103,842,713	118,891,565	222,734,278

※文部科学省科学研究費補助金を除く

1-6 各種会議・研究会・講習会への参加

日付	会議名	会場	出席者名
23.4.6-4.8	平成23年度新規採用職員研修	宮崎市	須原弘登・中谷 誠
23.4.11-4.15	平成23年度新規採用職員研修	宮崎市	須原弘登・中谷 誠
23.4.15	環境森林部所属長会議	宮崎市	飯村 豊
23.4.15	出納員会議	宮崎市	増永保彦
23.4.22	平成23年度第1回林業普及指導地区主任会議	宮崎市	小田久人
23.4.25	コーディネーター等会議	宮崎市	増永保彦
23.4.25	チームみやざきスギ推進会議	宮崎市	飯村 豊
23.4.25-4.26	自治学院研修	宮崎市	井上直三
23.4.26	木材加工技術協会九州支部理事会及び総会、講演会	福岡市	小田久人
23.4.26-4.27	農商工連携ファンド審査会	宮崎市	飯村 豊
23.5.10-5.11	九州林試協木材加工部会	熊本市	小田久人・須原弘登・中谷 誠
23.5.12-5.13	自治学院研修	宮崎市	荒武志朗
23.5.19	防火管理新規講習	宮崎市	井上直三
23.5.19	山村木材振興課担当者会議	宮崎市	増永保彦・須原弘登・荒武志朗
23.5.20	建築住宅行政連絡調整会議	宮崎市	皆内健二
23.5.23	県ホームページ情報掲載システム研修会	宮崎市	椎葉 淳
23.5.23	自治学院研修	宮崎市	小田久人
23.5.23	諸手当認定事務・共済事務初任者等研修会	宮崎市	安部浩之
23.5.23	第1回地域木材産業等連携支援事業検討委員会	宮崎市	荒武志朗
23.5.25	平成23年度北諸地方連合協議会	都城市	飯村 豊
23.5.26-5.27	平成23年度九州ブロック建築審査会長会議	長崎市	皆内健二
23.5.26-5.28	玉掛け技能講習会	都城市	中谷 誠
23.5.27	県木連総会	宮崎市	飯村 豊
23.5.30	安全運転管理担当者等研修会	宮崎市	山口隆義
23.5.30	林業普及指導員資格試験研修会	宮崎市	小田久人
23.5.30	都城森林組合総会・県議意見交換会	都城市	飯村 豊
23.6.2	情報化推進リーダー会議	都城市	山口隆義
23.6.2	第62回社団法人宮崎県職員互助会総会	宮崎市	安部浩之
23.6.2-6.5	フォークリフト運転技能講習会	宮崎市	岩崎新二・中谷 誠
23.6.7-6.8	伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験委員会	京都市	森田秀樹
23.6.15	京都大学 生存圏ミッションシンポジウム	京都府	飯村豊・増永保彦・中谷 誠
23.6.17	新任社会保険事務担当者研修会	高鍋町	安部浩之
23.6.17-6.18	伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験委員会	東京都	中谷 誠
23.6.21	財務会計基礎研修	宮崎市	須原弘登・中谷 誠
23.6.23	環境森林部政策課題研究会	宮崎市	田中 洋
23.6.24	県産材安定供給戦略推進チーム会議	宮崎市	飯村 豊
23.6.30-7.1	九州地区林業試験研究機関連絡協議会場所長会議	熊本市	飯村 豊
23.7.1	環境林政懇談会	宮崎市	飯村 豊
23.7.8	林業技術センター試験研究等連絡調整会議幹事会	宮崎市	小田久人
23.7.12	科学研究費助成事業制度説明会	熊本市	中谷誠・赤木 剛
23.7.14	平成23年度県林材業労働災害防止大会	宮崎市	増永保彦・笹山照雄
23.7.15	宮崎スギ活用の家先導事業審査会	宮崎市	飯村 豊
23.7.19	北諸県地方連絡協議会人権同和問題研修会	都城市	増永保彦
23.7.22	県立試験研究機関協議会企画担当者会議	宮崎市	増永保彦
23.7.25	森林資源活用温暖化対策事業調整会議	宮崎市	小田久人
23.7.25	自治学院パワーアップ研修受講	宮崎市	井上直三
23.7.26	需要拡大協議会	宮崎市	飯村 豊
23.7.27	県産材利用推進委員会公共施設等地域材利用推進部会	宮崎市	皆内健二
23.7.27	公共施設等地域材利用推進部会	宮崎市	飯村 豊

1-6 各種会議・研究会・講習会への参加(つづき)

日付	会議名	会場	出席者名
23.7.29	産業支援財団技術発表会	宮崎市	飯村 豊
23.8.3	環境森林部政策課題研究WG	宮崎市	田中 洋
23.8.4-8.5	県職員5年目研修	宮崎市	赤木 剛
23.8.5	人権同和問題研修	都城市	飯村 豊・井上直三
23.8.8	自治学院研修受講	宮崎市	荒武志朗
23.8.17	安全衛生・メンタルヘルス研修会	宮崎市	小田久人・荒武志朗
23.8.17	メンタルヘルス研修会	宮崎市	井上直三
23.8.17	県立試験研究機関長会協議会	宮崎市	飯村 豊・増永保彦
23.8.17-8.18	宮崎農商工連携応援ファンド事業審査委員会	宮崎市	井上直三
23.8.22	えせ同和行為等対策研修会	宮崎市	安部浩之
23.8.22-8.25	日本建築学会大会学術講演会(関東)	東京都	荒武志朗・中谷 誠
23.8.23-8.26	日本建築学会大会学術講演会(関東)	東京都	飯村 豊
23.8.25	自治学院研修	宮崎市	小田久人
23.8.26-8.27	木材学会九州支部大会研究発表	鹿児島	田中 洋
23.8.30	研究成果報告会、木材加工技術意見交換会	美郷町	飯村 豊・増永保彦・ 小田久人・須原弘登・ 荒武志朗・松元明弘・ 田中 洋・椎葉 淳
23.8.30	地域木材産業等連携支援事業検討委員会	宮崎市	松元明弘
23.9.16	平成24年度科学研究費助成事業公募要領等説明会	福岡市	安部浩之
23.9.21	北諸県地連協交通安全キャンペーン	都城市	田中 洋
23.9.25	日中韓3か国セミナー	宮崎市	飯村 豊・小田久人・ 岩崎新二・須原弘登・ 荒武志朗・森田秀樹・ 松元明弘・田中 洋・ 椎葉 淳・中谷 誠・ 矯 健
23.9.29	木製ガードレール検討委員会	宮崎市	飯村 豊
23.10.12-10.15	第29回日本木材加工技術協会年次大会	岡山市	荒武志朗・小田久人
23.10.14-10.15	第36回宮崎県人権・同和教育研究大会	都城市	中谷 誠・須原弘登
23.10.20	グリーン公共事業推進部会	宮崎市	皆内健二
23.10.24-10.25	新規採用職員後期研修	宮崎市	須原弘登・中谷 誠
23.10.24-10.26	農水実用技術開発事業日中木材木造建築関連意見交換会	東京都	飯村 豊
23.10.27	パワーアップ研修	宮崎市	赤木 剛
23.11.4	23年分年末調整事務説明会	宮崎市	安部浩之
23.11.7-11.8	構造用集成材JAS分科会	東京都	森田秀樹
23.11.9	未来みやざき創造プラン説明会	都城市	椎葉 淳・松元明弘・ 岩崎新二
23.11.10	スギシンポジウム2011	都城市	中谷 誠・椎葉 淳・ 田中 洋・皆内健二・ 松元明弘・森田秀樹・ 荒武志朗・赤木 剛・ 須原弘登・岩崎新二・ 小田久人・海老原敦子・ 山口隆義・安部浩之・ 増永保彦・矯 健・ 井上直三・飯村 豊
23.11.12	スギコレクション2011in日向	日向市	飯村 豊
23.11.12	やまんかん祭り2011	日向市	増永保彦
23.11.16	情報化研修会	宮崎市	椎葉 淳
23.11.17	農水実用技術開発事業・集成材製材関連打合せ	福岡市	飯村 豊
23.11.28	鳥インフルエンザ防疫講習	都城市	椎葉 淳
23.12.1	第15回木質構造研究会技術発表会	東京都	飯村 豊

1-6 各種会議・研究会・講習会への参加(つづき)

日付	会議名	会場	出席者名
23.12.8	製材JAS資格者養成研修会	宮崎市	小田久人
23.12.12	木材強度・木質構造研究会秋季シンポジウム	東京都	椎葉 淳
23.12.13	有機溶剤作業主任者技能講習	都城市	岩崎新二
23.12.14	有機溶剤作業主任者技能講習	都城市	岩崎新二
23.12.15	森林審議会	宮崎市	飯村 豊
23.12.15	平成23年度宮崎県危機管理・防災研修会	宮崎市	皆内健二
23.12.16	県産材安定供給戦略推進チーム会議	宮崎市	飯村 豊
23.12.19	県産材利用推進委員会	宮崎市	飯村 豊
23.12.19	溶融スラグ有効活用セミナー	宮崎市	須原弘登・赤木 剛
23.12.20	県立試験研究機関合同研修会	美郷町	増永保彦・小田久人・ 須原弘登・椎葉 淳
24.1.12	宮崎国際ビジネスセミナー	都城市	飯村 豊
24.1.14	普通第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習の受講	宮崎市	須原弘登・赤木 剛
24.1.23	北諸県地区情報関係研修会	都城市	安部浩之
24.1.27	平成24年度清掃業務委託契約に係る条件付一般競争入札実施説明会	宮崎市	山口隆義
24.2.2	林業普及指導職員研修大会	宮崎市	増永保彦・小田久人・ 田中 洋
24.2.2	宮崎大学工学部・宮崎県連携協議会	宮崎市	荒武志朗
24.2.5	科研費電子申請システム操作方法等説明会	東京都	安部浩之
24.2.7	全国木材協同組合連合会水平連携促進事業	宮崎市	飯村 豊
24.2.10	構造用集成材JAS分科会	東京都	森田秀樹
24.2.17	地域木材産業等連携支援事業検討委員会	宮崎市	松元明弘
24.2.17	木材の輸出促進に関する意見交換会	東京都	飯村 豊
24.2.17	よみがえる木材・林業のルネッサンス講演会・討論会	大阪市	荒武志朗
24.2.20	油津地区・都市デザイン会議	日南市	田中 洋
24.2.20	交通安全講習会	都城市	増永保彦・森田秀樹
24.2.20	第195回生存圏シンポジウム研究成果発表	京都府	中谷 誠
24.2.22	バイオマス活用普及推進セミナー	宮崎市	小田久人・須原弘登
24.2.23	安心・安全な乾燥材生産研究推進会議	石川県	小田久人
24.2.24	給与支払事務等に係る年度替わり事務説明会	宮崎市	安部浩之
24.2.29	平成23年度第2回環境資源技術研究会	宮崎市	小田久人・須原弘登
24.3.1	県産業支援財団支援事業活用セミナー	都城市	増永保彦・小田久人
24.3.2	公的研究費の管理・監査に関する研修会	東京都	増永保彦
24.3.3	日向市建築と防災講習会	日向市	田中 洋
24.3.13	建築基準法37条関連実験状況調査と木材学会大会研究発表	北海道	荒武志朗
24.3.14	第62回日本木材学会大会	北海道	飯村 豊・小田久人・ 岩崎新二・須原弘登・ 田中 洋・森田秀樹・ 椎葉 淳・松元明弘・ 赤木 剛・中谷 誠
24.3.23	県産材安定供給戦略推進チーム会議	宮崎市	飯村 豊
24.3.26	スギ樹皮解繊作業、及びNEDO九州地区事業説明会	福岡県	須原弘登
24.3.27	都城市建築審査会	都城市	皆内健二

1-7 委員等への就任状況

会 議 等 の 名 称	職 名	氏 名
宮崎農商工連携ファンド事業審査委員会	委 員	飯村 豊
日本木材加工技術協会九州支部	理 事	小田久人
地域木材産業等連携支援事業検討委員会	委 員	荒武志朗
日本木材学会九州支部	理 事	飯村 豊
木製ガードレールの普及に関する検討委員会	委 員	飯村 豊
水平連携活動地域指導委員会	委 員	飯村 豊

1-8 設 備 (主要研究機器)

機 器 名	型 式	メーカー名	設置日	価格 (千円)	区 分
GC-MS	JMS-AMSU N200	日本電子	H13 4/1	17,325	国 補 ※1
分光測色計	SQ2000	日本電色	H13 4/1	2,142	国 補 ※1
低真空走査型電子顕微鏡	S-3000N	日立製作所	H13 4/1	9,240	国 補 ※1
耐候性試験機	SX75-A	スガ試験機	H13 4/1	15,225	国 補 ※1
超臨界流体抽出装置	SCF-201他	日本分光	H13 4/1	9,975	国 補 ※1
蛍光式光ファイバー温度計	FX9020-221	安立計器	H13 4/1	2,331	国 補 ※1
木工プレス (高周波加熱 装置付きホットプレス)	FTYBL4-150 -60SP	山本鉄工所	H13 4/1	22,575	国 補 ※1
長期耐力試験装置 (クリープ試験装置)	TDS-303他	東京測器研究 所	H13 4/1	13,540	国 補 ※1
切削試験機 (ナイフリングフレーカー)	PZ8型	ウェスタン・トリーテ ィング・パルマン	H13 4/1	12,600	国 補 ※1
高周波加熱式減圧乾燥機	HED-0303型	ヤスジマ	H13 4/1	18,774	国 補 ※1
熱伝導率測定装置	HC-074-200 A他	英弘精機	H13 4/1	5,791	国 補 ※1
サーモビデオ	TH3102MR	NEC三栄	H13 4/1	4,562	国 補 ※1
実大圧縮試験機	A-200-B1	前川試験機製 作所	H13 4/1	8,348	国 補 ※1
実大引張試験機	HZS-100-LB 4	前川試験機製 作所	H13 4/1	25,725	国 補 ※1
実大強度試験機	WU-1000. TK21型	東京衝機製作 所	H13 4/1	57,960	国 補 ※1
断熱防露試験機	TBR-3 TBU-2	ダバイエスペ ック	H13 4/1	23,625	国 補 ※1
水密・気密試験装置	BPX-FM-1	スガ試験機	H13 4/1	26,565	国 補 ※1
実大構造試験装置	アクチュエータシステム 他	鷺宮製作所	H13 4/1	58,485	国 補 ※1
フーリエ分光光度計	Spectrum One	パーキンエル マー社	H13 10/2	4,725	国 補 ※1

(区分) 県単：県単独事業

国補：国庫補助事業

※1：林業構造改善事業

1-8 設 備 (つづき)

機 器 名	型 式	メーカー名	設置日	価格 (千円)	区 分
原子吸光分析装置	AA-6650	島津製作所	H13 10/19	6,773	国 補 ※1
可視紫外線分光光度計	U-2010	日立製作所	H13 10/31	1,285	国 補 ※1
粒度分布測定装置	LDSA-1400A	東日コンピュータフ リケーション	H13 3/26	8,295	国 補 ※1
万能試験機	AG-100KNI型	島津製作所	H13 3/26	16,800	国 補 ※1
顕微鏡画像総合計測システム	E6TUW-21-1 他	ニコン	H13 3/26	5,954	国 補 ※1
デンシトメータ	3CS-PC	JLオートメー ション	H13 3/26	18,375	国 補 ※1
FFTアナライザ	SA-79	RION	H13 3/26	1,785	国 補 ※1
高温乾燥装置	SDM-V-150S M	東北通商	H13 3/26	10,815	国 補 ※1
データロガー (強度)	THS-1100他	東京測器研究 所	H13 3/26	12,665	国 補 ※1
データロガー	TDS-303他	東京測器研究 所	H13 3/26	9,307	国 補 ※1
万能投影機	MF-1020TH	ミツトヨ	H13 3/26	2,762	国 補 ※1
塗装ロボット	MRP-1000A 他	アネスト岩田	H13 3/26	12,810	国 補 ※1
木材真空・加圧含浸装置	SBK-450AB	ヤスジマ	H13 3/26	13,440	国 補 ※1
軟X線撮影装置	EMBW特型	ソフテック	H13 3/26	8,978	国 補 ※1
横切り丸のこ盤	KS-T1300TW 型	桑原製作所	H13 3/26	1,764	国 補 ※1
環境試験室 (恒温恒湿室)	MTH-140HP	サンヨー	H13 3/26	9,450	国 補 ※1
イサイジング機	SBE	ヤスジマ	H13 3/26	8,295	国 補 ※1
年輪X線解析試料切削装置	SPECTTRUM -システムB	HBC radiomatic	H14 2/28	7,035	国 補 ※1
帯のこ盤 (小型)	BS-500R	リョービ	H13 3/26	463	国 補 ※1

(区分) 県単：県単独事業

国補：国庫補助事業

※1：林業構造改善事業

1-8 設 備 (つづき)

機 器 名	型 式	メーカー名	設置日	価格 (千円)	区 分
帯のこ盤 (中型)	BSA-1100	リョービ	H13 3/26	1,050	国 補 ※1
ほぞ取り盤	MT-4	平安コーポレーション	H13 8/31	2,720	国 補 ※1
ロータリーレース	BV-3SA+TY30	田之内鉄工	H13 3/26	44,909	国 補 ※1
減圧加圧装置	SBK-500S	ヤスジマ	H14 3/8	8,295	国 補 ※1
マイクロスコープ	H-8000	キーエンス社	H13 10/31	7,455	県 単
ホットプレス	TA-125-W	山本鉄工所	H13 10/31	9,954	県 単
材料吸音率計測装置	4206	B&K	H13 10/31	5,287	県 単
蛍光顕微鏡装置	TCP-SP	ライカ社	H13 12/10	13,136	県 単
木材乾燥機	MHB-5MR	九州オリンピア工業	H14 1/11	15,488	県 単
ベニヤレース	BV-3SA	田之内鉄工所	H14 3/20	44,909	県 単
グレーディングマシン	MGFE251T	飯田工業	H14 3/22	12,216	県 単
表面圧密化熱処理装置	TA200-1 WAR	山本鉄工所	H14 3/22	26,880	県 単
水平振動試験装置	VTH-30	南九州向洋電気	H14 3/29	51,975	県 単
マイクロ波透過型センサ	LB-IT	飯田工業	H16 3/28	1,492	県 単
小型環境試験機	SH-221	エスペック	H23 6/22	1,152	県 単

(区分) 県単：県単独事業
 国補：国庫補助事業
 ※1：林業構造改善事業

1-9 工業所有権等

職員が行った発明・考案で、特許法に基づき出願、登録申請され、又は申請中であるもの及び既に特許権を取得し、登録を完了したものは、次のとおりである。

	発明の名称	出願		登録		発明者
		番号・日付	経過	番号・日付	経過	
1	湾曲集成材の製造法方（湾曲集成材の製造方法及びその製造装置からH16.8.23変更）	2002-053606 H14.2.28	見なし取り下げ			大熊 幹章 飯村 豊 藤元 嘉安
2	木質深底容器とその製造方法（6cm）	2002-170726 H14.6.11	消滅			藤元 嘉安 稲田 啓次 [(株)合電]
	木質深底容器とその製造方法その1(PCTに基づく国際出願)	PCT/JP02/084 38 H14.8.21	国内移転			藤元 嘉安 稲田 啓次 [(株)合電]
	木質深底容器とその製造方法その1（台湾での出願）	192083 H14.8.22		H16.3.30 特許番号 192083	放棄	藤元 嘉安 稲田 啓次 [(株)合電]
	木質深底容器とその製造方法その1（PCTに基づく国際出願国内移行）	2004-511016 H14.8.21		H19.6.22 特許番号 第3972213		藤元 嘉安 稲田 啓次 [(株)合電]
3	木ダボとその製造方法及び木ダボを用いた接合方法	2002-354440 H14.12.5		H17.10.14 特許番号 第3728739	H20.9.29 放棄	飯村 豊 田中 洋
4	建物の防蟻構造、蟻道誘導構造及びシアリ食害防止構造	2003-068694 H15.3.13		H19.7.27 特許番号 第3989388	H22.5.27 放棄	藤本 英人 落合 克紀 岩崎 新二
5	圧密を用いた幅ハギ板の製造方法	2003-328212 H15.9.19	見なし取り下げ			有馬 孝禮 藤元 嘉安 森田 秀樹
6	木材の乾燥排出液を利用した消臭剤	2003-328217 H15.9.19		H21.3.19 特許番号 第4278470		藤本 英人 小田 久人 落合 克紀
7	木質深底容器とその製造方法その2（10cm）（PCTに基づく国際出願）	PCT/JP2004/0 03382 H16.3.11	国内移転			藤元 嘉安 有馬 逸 [(株)合電] 落合 裕司 [(株)合電]
	木質深底容器とその製造方法その2（10cm）（台湾での出願）	93106627 H16.3.11	審査差し止め			藤元 嘉安 有馬 逸 [(株)合電] 落合 裕司 [(株)合電]
	木質深底容器とその製造方法その2（10cm）（PCTに基づく国際出願国内移行）	2006-510857 H16.3.11	名義変更	H22.2.5 特許番号 第4449065		藤元 嘉安 有馬 逸 [(株)合電] 落合 裕司 [(株)合電]

1-9 工業所有権等（つづき）

	発 明 の 名 称	出 願		登 録		発 明 者
		番号・日付	経 過	番号・日付	経 過	
8	面格子耐力壁の製造方法	2004-146446 H16.5.17	見なし取 り下げ			有馬 孝禮 藤元 嘉安 森田 秀樹
9	高含水率畜糞の処理方法	2005-250235 H17.8.4	見なし取 り下げ			藤本 英人
10	無機塩系シロアリ駆除剤およびそれを用いたシロアリ駆除方法	2005-311845 H17.10.26	見なし取 り下げ			藤本 英人
11	木材用接手及びこれを用いた接合方法	2006-042820 H18.2.20	見なし取 り下げ			飯村 豊 椎葉 淳 鈴木 達人 新日本製鉄 (株)他
12	木材由来の抗ウイルス剤	2006-170652 H18.5.25	見なし取 り下げ			藤本 英人
13	接合材及びその製造方法、並びにそれを用いた構造及びその建築方法	2006-188249 H18.7.7	見なし取 り下げ			齋藤 豊
14	スギ精油を用いたゴキブリ忌避剤	2007-29815 H19.1.15	見なし取 り下げ			藤本 英人
15	心持ち角材の熱板プレスによる表面割れ抑制方法並びにそれを用いたその乾燥方法	2008-007870 H20.1.17	見なし取 り下げ			有馬 孝禮 小田 久人 松元 明弘
16	軽軟材用テーパードねじ	2012-046268 H24.3.2				飯村 豊 白 惠 琇

工業技術センター工芸支場時代に取得した特許

- ① 樹心を有する木材の乾燥方法（H9.8.8特許登録）
- ② 製材品の簡易等級区分法（H12.4.28特許登録）

1-10 研究の評価等

1-10-1 外部評価委員会

木材利用技術センターが行う研究事業に係る課題設定及び業務内容の評価について、総合的かつ専門的に協議するため、外部評価委員会を開催した。

1 開催日	平成23年11月11日
2 場所	宮崎県木材利用技術センター大会議室
3 出席者	学識経験者等の評価委員6人 センター職員15人 計21人
4 主な意見・要望等	<ul style="list-style-type: none">・外部評価委員会のあり方を検討してもらいたい。内部評価があり、外部評価がある。・他県や林業技術センターと連携して研究に取り組んでももらいたい。・苗木段階からスギをどう使うか考える必要がある。・研究成果を木材業界に伝えてもらいたい。・自分のための研究にならないようにしてもらいたい。

1-10-2 木材加工技術意見交換会

設計や木材加工など関連業界からのセンターへの意見や要望を聞くため、木材加工技術意見交換会を開催した。

(県南地区)

1 開催日	平成23年8月2日
2 場所	宮崎県木材利用技術センター大会議室
3 出席者	県内の設計・木材関係者など8人 センター職員14人 計22人
4 主な意見・要望等	<ul style="list-style-type: none">・木工加工機械展示会などを見て、業界の動向を見極めてもらいたい。・大径材に関する試験研究を行ってもらいたい。・センター設立の原点を踏まえ、新たな10年に向けて試験研究を行ってもらいたい。・最終消費者のニーズにあった試験研究を行ってもらいたい。

(県北地区)

1 開催日	平成23年8月30日
2 場所	宮崎県林業技術センター大会議室
3 出席者	県内の設計・木材関係者など7人 センター職員8人 計15人
4 主な意見・要望等	<ul style="list-style-type: none">・大径材に関する試験研究を行ってもらいたい。・JAS規定はスギを想定していない場合もあるので、規格基準の変更等を働きかけてもらいたい。・スギの品種の研究とともに林業技術センターとの連携が必要である。・ヒノキに関する試験研究も行ってもらいたい。

1-1-1 技術移転

試験・研究の成果は民間企業等に技術移転を行っている。

年 度	内 容	関 係 企 業 等
平成 13年度	サンドーム日向	日向市、 宮崎ウッドテクノ(株)
	南郷くろしおドーム	南郷町、 宮崎ウッドテクノ(株)
2 件		
平成 14年度	スギ合わせ材の開発	木脇産業(株)、 ランバー宮崎(協)
	宮崎県知事校舎	宮崎県管財課、 宮崎ウッドテクノ(株)
	木質深底容器	(株)合電
	湾曲集成材の開発	丸十産業(株)
4 件		
平成 15年度	かりこぼうず大橋	宮崎県児湯農林振興局、西米良 村、宮崎ウッドテクノ(株)
	スギ心持ち柱材の高温乾燥技術	外山木材(株)ほか
	宮崎県西都原考古博物館	宮崎県営繕課、 マイウッド・ツー(株)ほか
	第55回全国植樹祭お野立所設計支援	宮崎県植樹祭準備室、設計事務 所ほか
	木の花ドーム	宮崎県営繕課、(株)大建設ほか
	双子柱商品開発	デクスウッド宮崎事業(協)
6 件		
平成 16年度	木質断熱材パネル開発	国産材住宅協議会
	宮崎県立大宮高等学校体育館	宮崎県営繕課、 宮崎ウッドテクノ(株)
	綾てるはドーム	綾町、マイウッド・ツー(株)
3 件		
平成 17年度	日向地区外構木材検討会(ガイドブック、塩見橋手 すり)	宮崎県日向土木事務所、日向木 の芽会、技術コンサルタント(株)
	宮崎スギスパン表	宮崎県産材流通促進機構ほか
	日南市天福球場内野スタンド	日南市
	宮崎県立高鍋高等学校体育館	宮崎県営繕課、 宮崎ウッドテクノ(株)
	内装兼用断熱型枠仕様書	国産材利用開発協会
	宮崎県立学校普通教室用木製学童机	宮崎県家具工業会
	木材利用促進学習プログラム	宮崎大学、 宮崎県山村・木材振興課
7 件		
平成 18年度	日向市駅舎	宮崎県都市計画課、日向市、 宮崎ウッドテクノ(株)
	韓国への新軸組木造	ランバー宮崎(協)、 ウッドエナジー(協)
	木と鉄を組み合わせるハイブリッド木造の開発	(株)志多組、昭和鉄工(株)
3 件		

1-1-1 技術移転（つづき）

年 度	内 容	関 係 企 業 等
平成 19年度	構造用集成材のJAS改正	ウッドエナジー(協)
	韓国へのスギ輸出民間支援「製材、集成材」	ランバー宮崎(協)、ウッドエナジー(協)
	大断面製材と鉄骨のハイブリッド構法(M製材所工場建設)	(株)志多組、昭和鉄工(株)、ランバー宮崎(協)
3 件		
平成 20年度	スギ精油大量採取技術	オビスギ精油利用促進協議会
	スギーヒノキ異樹種集成材	ウッドエナジー(協)
	サウスウッド宮崎協同組合木造新築工事	志多一級建築事務所、ランバー宮崎(協)
	スギLVL内装兼用型枠	(株)大三商行サンテック事業部
	日南市天福公園内投球練習場屋根トラス設計施工	日南市、丸彦渡辺・松尾建設JV
	日南市夢見橋	日南市、宮崎県油津港湾事務所、(株)熊田原工務店
6 件		
平成 21年度	JA西都農産物直売所 ファーマーズマーケット	JA西都
	三股町産業会館	三股町
	スギ精油の芳香剤利用	オビスギ精油利用促進協議会
	スギ精油の蜜蝋ワックス	(有)西澤養蜂場
4 件		
平成 22年度	RC造共同住宅における内装木質化	久保産業(株)
	木造温室	(株)ハルコーポレーション
	製材トラスチップ工場	(有)谷明産業
	大径材から得られたスギ側面定規挽き材	(株)もくみ
4 件		
平成 23年度	ビニルハウスを利用した木材乾燥	サウスウッド宮崎(協)
	スギーオウシュウアカマツ異樹種集成材	ウッドエナジー(協)
	五ヶ瀬ワイナリー屋外ステージ	五ヶ瀬町、(有)小嶋凌衛建築設計事務所
	椎葉村庁舎	椎葉村
4 件		
計		46 件